

第71回全国博物館大会資料



Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

令和5年11月

文化庁 企画調整課 博物館振興室

<目次>

【企画調整課独立行政法人連絡室からのお知らせ】（P. 1～）

- ① 国立文化財機構 文化財活用センター
 - ・文化財複製・デジタルコンテンツ等の貸出
 - ・ぶんかつアウトリーチプログラム
 - ・国立博物館収蔵品貸与促進事業
 - ・デジタル法隆寺宝物館

- ② 国立文化財機構 文化財防災センター
 - ・文化財防災センター事業概要パンフレット

- ③ 国立科学博物館
 - ・教員のための博物館の日
 - ・教育・博物館関係者の皆様へ
 - ・学習支援プログラム
 - ・園内の植物
 - ・空から見る植物園

- ④ 東京国立近代美術館
 - ・ガイドスタッフによる対話鑑賞
 - ・教育の場で活用できる教材

- ⑤ 国立工芸館
 - ・工芸トークオンライン
 - ・学習支援プログラム（学校・教育関係の方向けのプログラム）
 - ・「工芸とであう」（2D・3D 鑑賞システム）

- ⑥ 京都国立近代美術館
 - ・感覚をひらく 新たな美術鑑賞プログラム創造推進事業

- ⑦ 国立西洋美術館
 - ・国立西洋美術館（YouTube）

⑧ 国立国際美術館

- ・みる+（プラス）
- ・NMAO びじゅつあー

⑨ 国立新美術館

- ・建築ツアー
- ・建築ガイドアプリ CONIC
- ・#新美 Tips
- ・「NACT View」シリーズ

⑩ 国立アトリサーチセンター

- ・国立アトリサーチセンター 組織概要リーフレット
- ・国立アトリサーチセンター設立記念シンポジウム「ナショナル・アートミュージアムのいま」
- ・「国立美術館 コレクション・ダイアログ」「国立美術館 コレクション・プラス」
- ・日本近現代アートのリサーチポータル Art Platform Japan、全国美術館収蔵品サーチ「SHŪZŌ」
- ・「Social Story はじめて美術館にいきます。」
- ・ラーニングチャンネル動画集
- ・美術館に関する意識調査

【国立アイヌ民族博物館からのお知らせ】（P. 6～）

- 国立アイヌ民族博物館におけるバーチャル博物館のアップデートについて

【文化庁文化経済・国際課 新文化芸術創造室からのお知らせ】

- 日本博 2.0 事業について

【文化庁参事官（生活文化連携担当）付からのお知らせ】

- 食文化に関する学びや体験の提供に取り組んでいる博物館を募集しています！

【文化庁政策課文化発信室からのお知らせ】

- 『文化庁広報誌 ぶんかる』 では、博物館の取組を紹介しています！

【文部科学省初等中等教育局教育課程課からのお知らせ】

- 学校教育と博物館の連携

【企画調整課独立行政法人連絡室からのお知らせ】

① 国立文化財機構 文化財活用センター

・文化財複製・デジタルコンテンツ等の貸出

国立文化財機構が所有する文化財の複製やデジタルコンテンツ等をお貸し出しします。ミュージアムでの展示はもちろん、公共・商業施設の空間演出や、セレモニー用品、撮影小道具など、幅広い用途にご利用いただけます。

URL : [文化財複製・デジタルコンテンツ等の貸出 \(nich.go.jp\)](http://nich.go.jp)

・ぶんかつアウトリーチプログラム

文化財複製を用いて、全国各地の子どもたちが文化財に親しむためのプログラムを開発、実施します。学校の授業やミュージアムでのワークショップ、教員研修などにご活用いただけます。

URL : [ぶんかつアウトリーチプログラム \(nich.go.jp\)](http://nich.go.jp)

・国立博物館収蔵品貸与促進事業

日本とアジアの歴史・伝統文化の発信ならびに地方創生・観光振興に寄与することを目的とし、国内各地のミュージアムに対して、国立博物館の収蔵品を貸し出し、それにかかる作品輸送費等を支出する「国立博物館収蔵品貸与促進事業」に取り組んでいます。

URL : [貸与促進事業とは \(nich.go.jp\)](http://nich.go.jp)

・デジタル法隆寺宝物館

法隆寺ゆかりの名宝をデジタルコンテンツや複製でくわしく鑑賞、体験できる展示室です。国宝「聖徳太子絵伝」と「法隆寺金堂壁画」のデジタルコンテンツや複製グラフィックパネル、伎楽面などの復元模造を半年ごとに展示替えして公開します。

URL : [デジタル法隆寺宝物館 \(nich.go.jp\)](http://nich.go.jp)

② 国立文化財機構 文化財防災センター

・文化財防災センター事業概要パンフレット

文化財防災センターは、頻発する各種災害から多様な分野の文化財をまもるため、様々な事業に取り組んでいます。

URL : [2022年版パンフレットが完成しました | 文化財防災センター \(nich.go.jp\)](http://nich.go.jp)

③ 国立科学博物館

(国立科学博物館 上野本館)

・教員のための博物館の日

学校の先生に、博物館に親しみを持ってもらうことを目的とした「教員のための博物館の日」の紹介です。令和5年度は全国41地区で実施していて、各参加館それぞれで取り組める事業を行っています。館のジャンルに限らず、関心のある館はぜひ以下のメールアドレスにご連絡ください。

Mail : museumforteachers@kahaku.go.jp

URL : [今年度の開催情報 - 教員のための博物館の日 : 国立科学博物館 \(kahaku.go.jp\)](#)

・教育、博物館関係者の皆様へ

博物館職員向けの、対面での学芸員専門研修アドバンスト・コースやオンラインでの研修などを実施しています。また過去の学習プログラムに関する研究開発や、実施した試行的な学習プログラムについても紹介しています。

URL : [学習 >> 教育・博物館関係の皆様へ : 国立科学博物館\(kahaku.go.jp\)](#)

(国立科学博物館 筑波実験植物園)

・学習支援プログラム

植物園での学習：植物園では、多種多様な植物を自然に近い状態で育てています。図鑑や教科書でしか見られない植物もたくさんあります。本物の生きた植物から、多種多様な植物の特徴、面白さ、不思議さを、体験しながら学べる、それが植物園での学習です。

URL : [学習 >> 学習支援プログラム >> 植物園での学習 : 筑波実験植物園 \(kahaku.go.jp\)](#)

・園内の植物

毎週更新される見ごろの植物をはじめとし、スタッフによる今週のおすすめの植物を園内の植物図鑑とリンクさせ紹介。その他、今週の開花リストや筑波実験植物園の保有植物一覧もご覧いただけます。

URL : [おすすめコンテンツ >> 園内の植物 : 筑波実験植物園 \(kahaku.go.jp\)](#)

・空から見る植物園

植物園の季節変化や多様な植物を、ドローン映像でご紹介する独自の取組です。

URL : [園内紹介 >> 空から見る植物園 : 筑波実験植物園 \(kahaku.go.jp\)](#)

④ 東京国立近代美術館

・ガイドスタッフによる対話鑑賞

解説ボランティア「MOMAT ガイドスタッフ」とともに、コレクション3点程度を対話を通して鑑賞するギャラリートーク。ガイドスタッフ・テーマ・作品は毎回変わります。休館日には「休館日は！ オンライン対話鑑賞」も実施。展示中のコレクション1点を、45分程度の対話を通して鑑賞します。

URL：[ガイドスタッフによる所蔵品ガイド・東京国立近代美術館 \(momat.go.jp\)](http://momat.go.jp/guide)

URL：[オンライン対話鑑賞・東京国立近代美術館 \(momat.go.jp\)](http://momat.go.jp/online)

・教育の場で活用できる教材

アートカード、セルフガイドなど鑑賞の授業や来館前の事前学習で活用できる教材をご用意しています。デジタル教材もご案内しています。

URL：[教材・東京国立近代美術館 \(momat.go.jp\)](http://momat.go.jp/education)

⑤ 国立工芸館

・工芸トークオンライン

工芸の鑑賞をご自宅や学校等で体験できるプログラム。1作品を複数の高精細画像を通して40～50分かけてじっくりと味わいます。工芸鑑賞初心者からもっと詳しく知りたい方まで幅広くお楽しみいただけます。来館前のイメージづくり、また国立工芸館で過ごした時間を思い出すひとときとしてもおすすめです。

URL：[【工芸トークオンライン】不定期開催・国立工芸館 \(momat.go.jp\)](http://momat.go.jp/online)

・学習支援プログラム（学校・教育関係の方向けのプログラム）

校外学習や授業・課題協力、また学校の先生を対象とした研修などをご用意しました。

URL：[学校・教育関係の方向けのプログラム・国立工芸館 \(momat.go.jp\)](http://momat.go.jp/school)

・「工芸とであう」（2D・3D鑑賞システム）

3台設置した70V型8Kタッチモニターにて、選りすぐりの所蔵作品を、高精細画像を通してご鑑賞いただけます。工芸作品の魅力に目と心で”触れて”味わう試みです。

URL：[建物について・国立工芸館 \(momat.go.jp\)](http://momat.go.jp/building)

URL：[「工芸とであう」鑑賞システムの試み・国立工芸館 \(momat.go.jp\)](http://momat.go.jp/try)

⑥ 京都国立近代美術館

・感覚をひらく 新たな美術鑑賞プログラム創造推進事業

地域の盲学校や大学、行政と連携して、「みる」ことを中心としてきた美術館での体験を問い直し、障害の有無を超えて、誰もが美術館を訪れ、体験できるようなプログラムを創造、構築する取り組みを行っています。

URL：[感覚をひらく—新たな美術鑑賞プログラム創造推進事業 \(momak.go.jp\)](http://momak.go.jp)

⑦ 国立西洋美術館

- ・国立西洋美術館 (YouTube)

国立西洋美術館コレクションの紹介動画などを YouTube にて公開。

URL : [国立西洋美術館 National Museum of Western Art, Tokyo - YouTube](#)

⑧ 国立国際美術館

- ・みる+ (プラス)

視覚 (みる) だけに頼ることなく、ほかの感覚器官も存分に働かせることにより、誰でも鑑賞をはじめとする美術館のアクティビティを楽しめることを目指すプログラムです。

URL : [ユニバーサルプログラム・学び・体験 | 国立国際美術館 \(nmao.go.jp\)](#)

- ・NMAO びじゅつあー

誰でも参加できるように、4 種の美術館鑑賞プログラムを用意。未就学児とその保護者を対象とする「ちっちゃなこどもびじゅつあー ～絵本もいっしょに～」は、0 歳児から美術館を楽しめる内容です。聞こえない、聞こえにくいお子さんが参加できる回も実施しています。

URL : [NMAO びじゅつあー体験型プログラム | 国立国際美術館](#)

⑨ 国立新美術館

- ・建築ツアー

一般の参加者を対象に、建物の中や外、バックヤードなどを歩いて巡りながら、建築の特徴や機能について紹介する建築ツアー。小学生を対象とした「こどもたんけんツアー」も毎年開催。

URL : [建築ツアー | 体験する・まなぶ | 国立新美術館 \(nact.jp\)](#)

- ・建築ガイドアプリ CONIC

国立新美術館の建築について紹介するウェブアプリ。スマートフォンなどの端末にダウンロードし、建築の見どころに関する解説や、館内のおすすめスポットを巡るツアーを閲覧することができます。

URL : [国立新美術館建築ガイドアプリ CONIC | 体験する・学ぶ | 国立新美術館 \(nact.jp\)](#)

- ・#新美 Tips

国立新美術館の館内のさまざまな魅力や楽しみ方をウェブサイトおよび SNS で発信しています。

URL : [#新美 Tips | 国立新美術館\(nact.jp\)](#)

- ・「NACT View」シリーズ

2022 年より新規事業として美術館のパブリックスペースを使った小展示「NACT View」シリーズを開始。若手から中堅の美術家、デザイナー、建築家、映像作家を招聘し、現代の多様な表現を紹介しています。

URL : [企画展 | 国立新美術館\(nact.jp\)](#)

⑩ 国立アトリサーチセンター

- ・国立アトリサーチセンター 組織概要リーフレット

国立アトリサーチセンターは「アートをつなげる、深める、広げる」をキーワードに、国内外の美術館、研究機関をはじめ社会のさまざまな人々をつなぐ新たな拠点として、2023年3月に設立されました。専門領域の調査研究（リサーチ）に留まらず、情報収集と国内外への発信、コレクションの活用促進、人的ネットワークの構築、ラーニングの拡充、アーティスト支援などに取り組み、日本の美術館活動全体の充実を目指します。

URL : [国立アトリサーチセンター 組織概要リーフレット.pdf](#)

- ・国立アトリサーチセンター設立記念シンポジウム「ナショナル・アートミュージアムのいま」

国立アトリサーチセンターの設立を記念し、国際シンポジウムを開催します。アジア、ヨーロッパ、アメリカから国立美術館の館長らが集い、“ナショナル・アートミュージアム”としてのミッションや具体的なプログラム事例を紹介しながら、美術館の今日的役割や社会への貢献について意見を交わします。

URL : [国立アトリサーチセンター設立記念シンポジウム「ナショナル・アートミュージアムのいま」\(artmuseums.go.jp\)](#)

- ・「国立美術館 コレクション・ダイアログ」「国立美術館 コレクション・プラス」

地域におけるアートの鑑賞機会の充実と美術館の展示・調査研究活動の活性化に貢献することを目的として、全国の美術館等と協働し、国立美術館のコレクションを活用した連携事業を実施します。国立美術館のコレクションに自館の所蔵作品を加えて構成する展覧会の企画案を、全国の美術館等から募り、応募館を会場として実施します。

URL : [国立アトリサーチセンター | 美術館のコレクション \(artmuseums.go.jp\)](#)

- ・日本近現代アートのリサーチポータル Art Platform Japan、全国美術館収蔵品サーチ「SHŪZŌ」

日本全国の美術館・博物館が収蔵する作品のデータベースです。収録範囲は日本近現代のアート作品。各館から提供された情報に基づき、作家名、作品名、制作年、材質・技法、寸法・時間、所蔵先等の項目が記載されています。

URL : [全国美術館収蔵品サーチ「SHŪZŌ」 | Art Platform Japan](#)

- ・「Social Story はじめて美術館にいきます。」

だれもがアートに楽しめるよう、美術館へのアクセシビリティを高める事業の一つとして、美術館を利用するにあたって障害となっていることを調査し、対応できるコンテンツやツールを開発します。

「Social Story」は、主に発達障害がある方とその家族に向けた美術館案内です。発達障害の方をはじめ、美術館にはじめて訪問する方、利用することに不安を感じる方などが、どなたでも美術館を楽しみながら過ごすことができるよう、わかりやすく説明した冊子です。

URL : [国立アトリサーチセンター | アクセシビリティ \(artmuseums.go.jp\)](#)

・ラーニングチャンネル動画集

美術館のワークショップやさまざまな取り組みを「学び」という視点で集め、動画で発信しています。

URL : [国立アトリサーチセンター | ラーニング | ラーニングチャンネル動画集 \(artmuseums.go.jp\)](https://artmuseums.go.jp)

・美術館に関する意識調査

国立美術館では、美術館に関する意識を広く確認することを目的とし、2015年から継続的にインターネット調査を実施しています。関連する様々な検討・分析に活用いただけるよう、2022年度の調査結果の一部を公開しました。

URL : [活動レポート | 2022年度「美術館に関する意識調査」調査結果 \(artmuseums.go.jp\)](https://artmuseums.go.jp)

【国立アイヌ民族博物館からのお知らせ】

○国立アイヌ民族博物館におけるバーチャル博物館のアップデートについて

国立アイヌ民族博物館のWEBサイトで公開しているバーチャル博物館をアップデートし、360度3Dモデリングを公開やテーマ別平面図と説明動画を追加などいたしました。ぜひご覧ください。

URL : [バーチャル博物館のアップデートについて - 国立アイヌ民族博物館 \(nam.go.jp\)](https://nam.go.jp)

【文化庁文化経済・国際課 新文化芸術創造室からのお知らせ】

○日本博2.0事業について

「日本博2.0」では、インバウンド需要の回復や2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の機運醸成を目指しつつ、日本の美と心を体現する我が国の文化芸術の振興及びその多様かつ普遍的な魅力を発信する取組を支援する事業となります。

URL : [日本博 Japan Cultural Expo | 縄文から現代まで続く「日本の美」 \(bunka.go.jp\)](https://bunka.go.jp)

【文化庁参事官（生活文化連携担当）付からのお知らせ】

○食文化に関する学びや体験の提供に取り組んでいる博物館を募集しています！

文化庁では、食文化への学びや体験の提供に取り組む博物館、施設等に関する情報をウェブ上の仮想ミュージアム「食文化ミュージアム」で一体的に発信しています。これまでに98件の施設が食文化ミュージアムに認定されており、今年度も募集を開始しました。皆様のご応募をお待ちしております。

URL : [食文化ミュージアム \(foodculture2021.go.jp\)](https://foodculture2021.go.jp)

※（ご参考）別紙 - 1

【文化庁政策課文化発信室からのお知らせ】

○『文化庁広報誌 ぶんかる』では、博物館の取組を紹介しています！

文化庁 WEB 広報誌ぶんかるでは、様々な連載コラムや文化庁や国立文化施設の催し物のお知らせ・展覧会の紹介などを掲載しています。なかでも「いきいきミュージアム」や「博物館ななめ歩き」では、全国各地の博物館とその取組を取り上げています。ぜひご覧ください。

URL : [文化庁広報誌 ぶんかる \(bunka.go.jp\)](http://bunka.go.jp)

【文部科学省初等中等教育局教育課程課からのお知らせ】

○学校教育と博物館の連携

学習指導要領には、博物館や公文書館、その他資料館の活用を促す記載があります。別紙を参考に、学校との連携・協働を図っていただき、学校教育における指導の充実にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

※（ご参考）別紙 - 2

以上

文化庁は、食文化に関する学びや体験の提供に取り組んでいる施設を、募集しています！



WEBの世界的アワード
「FWA OF THE DAY」を受賞！

文化庁は、食文化への学びや体験の提供に取り組む博物館、施設等に関する情報をウェブ上の仮想ミュージアム「食文化ミュージアム」で一体的に発信しています。

これまでに98件の施設が食文化ミュージアムとして認定され、認定後は各種メディアで認定施設の活動が取り上げられたり、ウェブサイト・SNSで積極的な情報発信が行われるなど、食文化ミュージアムの取組が広がっています。

3つの部屋(カテゴリー)で
各施設を紹介します



応募期間

令和5年

10/6(金)

▶11/17(金)

応募条件

※個人からの応募は対象外となります。

食文化ミュージアムへの掲載対象となる施設は、下記の1又は2を満たしており、かつ、一般公開され誰でも利用可能な施設とします。

- 1 地域に根差した食文化又は特定分野の食文化を体系的に発信する施設
- 2 食文化への学びや体験を提供する施設

<具体的には、以下のような施設が該当します。>

博物館

食文化に関する情報が収集・展示され、学びや体験の提供に取り組んでいる文化施設

道の駅

地域に根差した在来作物や郷土料理に関する情報を発信しており、実際に購入・飲食ができる道の駅

食の体験・情報発信施設

日本が誇る食の技やこだわりの味など、特色ある食文化に関する情報発信や学び・体験を提供している食の体験・情報発信施設

応募方法

下記ウェブサイトの応募案内を確認の上、応募フォームから応募してください。

<https://foodculture2021.go.jp/about/foodculturemuseum/>



※以下の情報もご覧いただけます。

これまでに認定された
「食文化ミュージアム」の紹介

よくある御質問とその回答

審査の視点

「食文化ミュージアム」で検索

事業の大まかな流れは下記となります。

1 応募書類の提出

公式ウェブサイトの応募フォームから申請してください。

2 審査・認定

文化庁が設置する有識者委員会において審査・認定します。

3 ロゴ・各種書類送付

「食文化ミュージアム」のロゴ、証明書等をお送りします。ウェブサイトや商品などでロゴマークの活用をお願いします。



4 食文化ミュージアムへの掲載

食文化ミュージアムサイトにおいて、認定された施設や食文化の紹介、イベント等の情報を掲載します。

5 継続的な情報発信

文化庁は、認定された食文化ミュージアムの情報を公式ウェブサイト等で発信します。

「食文化あふれる国・日本」プロジェクト

問い合わせ先

食文化ミュージアム 事務局 (ロケーションリサーチ株式会社内) メール: museum@foodculture.jp

※問合せや相談につきましては、原則、電子メールでお寄せください。ただし、審査の内容に関する質問にはお答えできません。メールの問合せは3営業日以内に返信いたします。

| 小学校学習指導要領 (H29告示) | 中学校学習指導要領 (H29告示) | 高等学校学習指導要領 (H30告示) |
|--|---|--|
| <p>総則</p> <p>第3 教育課程の実施と学習評価（抜粋） 地域の図書館や博物館，美術館，劇場，音楽堂等の施設の活用を積極的に図り，資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動を充実すること。</p> | <p>総則</p> <p>第3 教育課程の実施と学習評価（抜粋） 地域の図書館や博物館，美術館，劇場，音楽堂等の施設の活用を積極的に図り，資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動を充実すること。</p> | <p>総則</p> <p>第3款 教育課程の実施と学習評価（抜粋） 地域の図書館や博物館，美術館，劇場，音楽堂等の施設の活用を積極的に図り，資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動を充実すること。</p> |
| <p>社会科</p> | <p>社会科（歴史的分野）</p> | <p>地理歴史科（歴史総合）</p> |
| <p>第3 指導計画の作成と内容の取扱い（抜粋） 博物館や資料館などの施設の活用を図るとともに，身近な地域及び国土の遺跡や文化財などについての調査活動を取り入れるようにすること。また，内容に関わる専門家や関係者，関係の諸機関との連携を図るようにすること。</p> | <p>第2 各分野の目標及び内容〔歴史的分野〕 3 内容の取扱い（抜粋） 日本人の生活や生活に根ざした文化については，政治の動き，社会の動き，各地域の地理的条件，身近な地域の歴史とも関連付けて指導したり，民俗学や考古学などの成果の活用や博物館，郷土資料館などの施設を見学・調査したりするなど具体的に学ぶことを通して理解させるように工夫すること。</p> | <p>第3 歴史総合 3 内容の取扱い（抜粋） 年表や地図，その他の資料を積極的に活用し，文化遺産，博物館や公文書館，その他の資料館などを調査・見学したりするなど，具体的に学ぶよう指導を工夫すること。その際，歴史に関わる諸資料を整理・保存することの意味や意義に気付くようにすること。また，科目の内容に関係する専門家や関係諸機関などとの円滑な連携・協働を図り，社会との関わりを意識した指導を工夫すること。</p> |
| <div style="text-align: center;">  <p>小学校学習指導要領</p> </div> | <div style="text-align: center;">  <p>中学校学習指導要領</p> </div> | <div style="text-align: center;">  <p>高等学校学習指導要領</p> </div> |
| <p>※理科、図工、総合的な学習の時間、にも関連する記載有</p> | <p>※理科、美術、総合的な学習の時間、にも関連する記載有</p> | <p>※地理歴史科（日本史探究、世界史探究）、理科、理数、美術、総合的な探究の時間、にも関連する記載有</p> |

博物館における取組例

仙台市博物館の取組（学校向けに、博物館の活用検討時の参考となる情報を紹介している例）

仙台市 SENDAI CITY 杜の都

Google カスタム検索 サイト内検索 Foreign Language

- ホーム
- 施設案内・アクセス
- 展示のご案内
- 講座・イベント
- 仙台市史
- 『調査研究報告 第43号』を刊行しました
- レストラン・ミュージアムショップ
- キッズコーナー（目次）
- 学校の先生方へ
- NEWS一覧
- SENDAI CITY MUSEUM
- おうちで楽しむ仙台市博

本物のもつ迫力を感じてほしい

仙台市博物館は、なるべく本物をお客様に見ていただくという考えで、展示品との関係から展示替を行っています。本物の資料は、長い歴史の経緯など、多くのご意見を私たちに語りかけています。本物だからこそ伝わる本物の声もつづいてください。では、じっくり観るためには……

本物に出会う前に 学校でホームページの確認を

調べ学習で来館する方は、「調べ学習のために」をクリックしてください。あらかじめ展示品などの確認をしておく、見学の際に、本物のもつ迫力や学校での事前学習や見学後のまとめに、どうぞご利用ください。

学校との連携 (具体的なスタイル) 見学について

子供向け講座・イベント 職場訪問 先生向けのプログラム

出前授業について

出前授業メニュー

| テーマ | 内容 |
|---------------|--|
| 伊達政宗と仙台 | 仙台藩の基礎をつくった伊達政宗の生涯をたどりながら、仙台城や城下町仙台のまちづくりの特徴などについて学びます。 |
| 慶長遣欧使節と支倉常長 | 伊達政宗がスペイン、ローマに派遣した慶長遣欧使節について、支倉常長を中心に、使節派遣の目的やその功績などを学びます。 |
| 仙台藩の参勤交代を調べよう | 仙台藩の参勤交代を描いた資料や参勤交代の目的について考えたりします。 |
| 戊辰戦争 仙台藩と会津藩 | 戊辰戦争について、仙台藩と会津藩の戦いについて学びます。 |
| 博物館の役割と仕事 | 博物館の社会的な役割や、様々です。 |
| もんきりがたで遊ぼう | 伊達家の家紋や「もんきり」遊びについて、1人4〜5枚の折り紙をご用意しています。 |



仙台市博物館HP

博物館活用研修【申込制】

令和5年7月31日（月曜日）9時30分から12時00分まで

仙台市内の小・中学校、特別支援学校、高等学校の先生方を対象とした研修会です。社会科や図工・美術科、総合的な学習の時間における博物館学習の具体例や貸出教材の活用を紹介いたします。事前申込制です。7月上旬頃に、申込案内を市内各校に通知させていただきます。

PDF 令和4年度博物館活用研修申込用紙【PDF版】はこちらから (PDF: 153KB)
 Word 令和4年度博物館活用研修申込用紙【Word版】はこちらから (ワード: 44KB)

※令和5年度は、7月上旬ごろから申込を開始する予定です。

社会教育施設連携研修 (博物館・史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設) 【申込制】

令和5年7月28日（金曜日）9時30分から12時00分まで

博物館や文化財課が仙台市内の学校で行っている出前授業や、校外学習における文化財課施設の活用の方針について、博物館指導主事と文化財課職員が紹介いたします。

岩手県立博物館の取組（学習指導要領の記載に沿って常設展示目録を整理している例）

岩手県立博物館 IWATE PREFECTURAL MUSEUM

岩手山を望める丘のミュージアム

- 博物館のご案内
- 展示室のご案内
- 企画展・テーマ展
- イベントのご案内

ホーム > 教育機関の皆さまへ

教育機関の皆さまへ

学校連携事業のご紹介

県立博物館が実施している学校連携事業について御紹介します。

■ 主な学校連携事業の概要と事例については、こちらをご覧ください (PDF: 1.5MB)
 ■ 博物館館内実習についてはこちら (PDF: 1.5MB)

来館して利用する場合

- 開館日・時間・入館料等については利用案内をご覧ください。
- 総合的な探究の時間や教科学習などで利用できる県立博物館の施設や資料についてはこちらをご覧ください。
- ワークシートの案内
 - ▶ 岩手県の自然や歴史を代表する展示資料を紹介したワークシートが、資料名を記入する形式です。学校団体で来館する場合は、5冊と10冊の2種のシートから選んでください。質問や答え合わせにご利用ください。

岩手県立博物館 学習指導要領対照目録 小学校社会 6年



岩手県立博物館HP

| 内容 | 主に関係する展示 | 展示場所 |
|---|--|-------------------|
| ① 大和政権による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したことを理解すること。その際、神話・伝承を手掛かりに、国の形成に関する考え方などに関心をもつこと。 | (ア) 青森・探果や農耕の生活、古墳、大和朝廷 (大和政権) による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したことを理解すること。その際、神話・伝承を手掛かりに、国の形成に関する考え方などに関心をもつこと。 | 総合展示室 「いわての歩み」 |
| ② 大陸に学んだ国づくり | (イ) 大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造りの様子を手掛かりに、天皇を中心とした政治が確立されたことを理解すること。 (ウ) 貴族の生活や文化を手掛かりに、日本風の文化が生まれたことを理解すること。 | 総合展示室 「いわての歩み」 |
| ③ 武士による政治が始まる | (エ) 源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを手掛かりに、武士による政治が始まったことを理解すること。 | 総合展示室 「いわての歩み」 |